

「種まき」

皆さん、こんにちは。畑に種をまいても、次の日には芽は出ません。毎日水をやり、太陽の光を受け、土の中でゆっくりと根を張ります。そして、ある日、小さな芽が顔を出し、やがて花を咲かせ、大きな実を結びます。もし、種をまいた翌日に土を掘り返して、「まだ芽が出ない」と諦めてしまったら、実りを見ることはできません。人生も、この種まきによく似ています。人に親切をしても、すぐに感謝されるとは限りません。努力をしても、すぐに結果が出るとは限りません。感謝の心で過ごしても、すぐに人生が大きく変わるわけではありません。それでも、その一つ一つは決して無駄にはなりません。目には見えなくても、心の中に、人とのつながりの中に、確かに根を張り、やがて大きな実を結ぶ時がやってきます。

天理教では、人に親切を尽くし、誠の行いを積み重ねることを大切に教えていただきます。人を喜ばせようとする心。「ありがとう」と感謝する心。困っている人に手を差し伸べる心。そのような小さな善い行いは、一粒一粒の種のようなものです。今日まいた種が、いつ芽を出すかは分かりません。しかし、親切の種、感謝の種、誠の種は、決して枯れることはありません。やがて誰かの喜びとなり、自分自身の幸せとなって返ってきます。今日という一日、誰かのために一つでも善い種をまいてみませんか。その小さな種が、未来の大きな幸せへと育っていくことを信じたいと思います。

ありがとうございました。